

第36期・特許翻訳上級コース

2017年10月開講 第36期生募集

受講案内

東京・大阪

(説明会資料)

《第36期開講日程》

東京(本科) 2017年10月18日(水)～2018年2月14日(水)
週1回 18:30～21:00 全15回
大阪(本科) 2017年10月19日(木)～2018年2月15日(木)
週1回 18:30～21:00 全15回

《説明会・デモ授業》

東京 9月13日(水) 18:30～21:00
千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7F
大阪 9月16日(土) 13:30～16:00
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター 602号室

主催 株式会社 エイバックズーム
100-6162 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー3階
TEL 03-6205-3489 FAX 03-6205-3100
<http://www.zoomin.co.jp/> staff@zoomin.co.jp

特許翻訳上級コース 第36期 募集要項

【開講日程】

東京 2017年10月18日(水)～2018年2月14日(水) 毎週水曜 18:30～21:00
大阪 2017年10月19日(木)～2018年2月15日(木) 毎週木曜 18:30～21:00
全15回(前半:英文和訳7回、後半:和文英訳8回) 計37.5時間

【受講対象】

特許翻訳を勉強したい方、特許翻訳者を目指す方。特許分野の知識・経験は問いません。
語学力は、TOEICスコア800程度以上、英検準1級程度以上を目安としていますが、これらの目
安に満たない方も多く受講されています。ご心配な方はご相談ください。

【受講料】

210,000円+消費税16,800円=計226,800円
割引適用制度あり。詳細は4ページをご参照ください。

【定員】

各会場 14名
東京のみ Skype受講枠(2名)
遠方にお住まいで通学ができない方のために、Skype受講枠を設けています。
ただし、事前の接続確認を要し、その結果によってはお引き受けできない場合もございま
すのでご了承ください。有線接続環境をお持ちの方を優先させていただきます。

1. 説明会及びデモ授業のご案内

説明会では、当コースの概要、授業の進め方などについてご説明します。
デモ授業は、実際の担当講師が担当しますので、普段の授業の様子を体験して頂けます。

<東京会場>

日時: 2017年9月13日(水) 18:30～21:00
会場: 千代田区永田町2-13-5 赤坂イトワンビル7F 会場地図は8ページへ

<大阪会場>

日時: 2017年9月16日(土) 13:30～16:00
会場: 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター 602号室
会場地図は8ページへ

ご参加希望の方は、メール、電話、又は別紙のファックスにてお申込みください。
説明会参加のご都合がつかない方、メール又は電話にて個別相談をお申込みください。

お問い合わせ先

株式会社エイバックズーム(担当:坂元)
TEL 03-6205-3489 FAX 03-6205-3100
メール staff@zoomin.co.jp
<http://www.zoomin.co.jp/>

2. 特許翻訳上級コース 受講をご検討される方へ

当スクールの基本姿勢

知財関連の周辺業務の中でも特許翻訳は難しいものとされています。また、語学力を生かして翻訳を仕事にしたいと考える方々にとっても、特許翻訳はハードルが高いイメージが強く、仕事量に比して優秀な人材が常に不足している分野です。

特許翻訳の仕事には、翻訳力・語学力のみならず、各技術分野の知識も求められます。多岐にわたる技術分野の最新知識を蓄え続けるというのは現実的ではありませんが、適切な「調査力」を身に付けることで、翻訳作業には必要十分な知識を自ら更新していくことができるようになります。

当コースでは、特許翻訳家だけではなく弁理士も含めた経験豊富な知財の専門家を講師陣にお迎えしています。翻訳者としての立場から、また弁理士(翻訳の発注側)としての立場から、特許翻訳者に必要なスキルを身に付けるお手伝いをいたします。

受講前～受講後の流れ

<説明会及びデモ授業、個別相談>

説明会・デモ授業にご参加頂くことで、当コースの大まかな概要や講義の様子を把握して頂けます。スクールに関するご質問にもお答えします。

それ以外に、一対一でじっくり相談なされたい方には、直接面談の他、電話、メール等で随時個別相談に応じています。目標設定や学習方針など、受講開始にあたって明確なイメージを描くお手伝いをします。

<目標設定>

受講をご検討頂くにあたって、ご自身の目標を設定してください。

なるべく早く特許翻訳者として独立したい、翻訳の勉強は続けながら知財関連の職種に転職したい、当面は現在の仕事を続けるかまたは家庭を優先していくが、将来的に翻訳者として働けるよう少しずつ準備していきたい…など、何年位でどのようになりたいか、具体的なビジョンを描いてみてください。

<受講中のサポート>

受講生の皆様に役立つような書籍の紹介・貸出など、実際の講義の経過を見ながら、講師の方々とは違う視点でサポートを行っていきます。

<受講後の支援>

ご希望の方には翻訳会社のトライアル受検をサポートします。また、翻訳会社のトライアル、知財関連の人材募集など、皆様のお役に立つ情報を随時提供しています。

当コースの他にも、さらなるスキルアップに有益な知財関連のセミナーを不定期に実施しています。修了生割引にて受講頂けますのでご活用ください。

同期の受講生同士は、数か月間勉強の苦勞を共にするためか、修了後も交流を続けられる方が多くいらっしゃいます。有志で集まって自主勉強会を行っている方々もおられます。同じ目標を持つ方たちとの横のつながりは大きな財産となり糧となりますので、当スクールを、人脈形成や情報交換の場としても積極的に利用してください。

3. 講義の概要

<基本的な考え方>

1. スクールに通うだけで全て学べるわけではありません。「教えてもらう」という受身の姿勢ではなく能動的に講義に参加する姿勢で、折角のチャンスを活用すべく積極的に質問してください。
2. 予習復習を丁寧にすることが大きな成果の差となっていきます。講師による添削をしっかり吸収し、次の課題提出に活かしてください。
3. 当コースでは、課題提出を「疑似発注」及び「疑似納品」と位置付けています。単に翻訳文を提出するだけではなく、コメントの付け方、文書の体裁などにも配慮して、翻訳発注者に納品するつもりで提出物を作成して頂きます。
4. 取り上げる技術分野は、電気電子、機械、ITなど、複数の分野にわたっています。当コースは、技術分野の専門知識を得ることよりも、翻訳のスキルを磨くことに主眼を置いています。

<使用教材>

「特許翻訳基本教材」 翻訳者が知っておくべき基本知識について、講師陣の手による執筆をまとめたテキストを配布。講義の中で折に触れて解説しますが、ご自身でもしっかり目を通してください。

「翻訳課題」 実際の公開特許公報や特許公報を課題とし、その中で講師が指定する一部分(訳文にして20～25行程度)を課題提出対象箇所として使用します。基本的には週に1件の特許文書を取り上げますので、対象箇所だけでなく全体を読み込むことで相当量の特許文書に触れることができます。

<課題提出について>

1. 教材として使用する特許文書は事前にPDFで配布します。課題提出対象箇所も明記していますが、対象箇所だけではなく全体を丁寧に読み込んで課題提出に備えて頂きます。
予習の一環として、講師に質問したい疑問点なども整理しておいてください。
2. スクールが指定する提出期限までに課題訳文をメールにて提出して頂きます。
原則的に講義日の4日前を提出期限に設定しています。スクールから毎週、提出期限及び提出対象箇所を確認するメールをお送りします。
受講生を2チームに分け、交互に隔週で課題を提出して頂きますが、受講人数が少ない場合はチーム分けをせず、全員に毎週提出して頂く形をとることがあります。
3. 講義に際して、提出者全員の訳文に講師の添削を記入したプリントアウトを配布し、それに基づいて実際の講義を進めていきます。他の受講生の提出訳文及びそれに対する添削も有益な復習材料となりますので活用してください。

～修了生の活躍～

これまでに既に200名を超える修了生が在宅特許翻訳者として活躍されています。

ある翻訳会社のトライアル実績では、実に80%の合格率に達しています。また、特許事務所への転職を希望され、まだ受講途中の段階で転職を実現される方も多くいます。

弊社ウェブサイト内

修了生の声

特許翻訳者になりました

でも多くの例を紹介しています

4. 提出課題の採点評価

提出課題には、講師による添削コメントの他、A+～Dの10段階評価で採点されます。

評価	100点満点中	可否	翻訳発注者の立場から	特許文書記載様式の理解 納品形態
A+	95-99	合格	素晴らしい！ お手本となるレベル	完璧
A	90-94		プロの翻訳者として十分なレベル	十分である
A-	85-89		納品に耐え得るレベル。更に力をつける必要はあるが、仕事に入れるレベル	
B+	80-84		問題はあるも決定的ではない。仕事に入るにはまだ力不足だが、スクール修了証は発行できるレベル	
B	75-79			
B-	70-74	不合格	してはいけない大きなミスがある。訳抜け・不要な付け加えなど、権利範囲に影響を与えている。納品としては不可	特許の記載様式の理解不足 納品形態も不親切
C+	65-69		上記も含めて重大なミスが複数あり、翻訳の納品としては採用不能	特許文書の基礎を理解していない
C	60-64			
C-	55-59			
D	54以下	評価不能	修正(添削)不能	

修了証発行の条件 次の基準を満たした受講生に、当スクールの修了証を発行します。

1. 出席率80%以上
2. 課題提出5回以上。内3回以上でB以上の評価を得る。
3. 中間試験、最終試験でB以上の評価を得る。

成績優秀者

中間試験終了時及び最終試験終了時に、成績優秀者1名を決定し、粗品を進呈します。

5. 受講料のお支払い

東京(本科) 2017年10月18日開講／大阪(本科) 2017年10月19日開講

講義時間		一般		NIPTA会員割引		支払期限
前期(英日):	17.5時間	受講料	210,000	受講料	190,000	
後期(日英):	20.0時間	消費税	16,800	消費税	15,200	
合計:	37.5時間	合計	226,800	合計	205,200	

- * 日本知的財産翻訳協会の個人会員または団体会員の職員の方には割引料金を適用します。
- * 弊社の他セミナーを過去に受講された方にも割引料金を適用しますので、お申し出ください。
- * 分割払い等にも対応いたします。ご希望の方、詳細はお問い合わせください。

- ★ 開講初日後は4ヶ月間のクラスのメンバーが確定しますので、開講後のキャンセルには対応致しかねます。
- ★ 4ヶ月間のご自分の勉強方法、今後の目標などを、十分お考えの上お申込みください。
- ★ お申込の方法に従ってご入金のご案内(請求書)をお送りします。

6. 講師陣のご紹介

(東京 本科)

主任教授 奥山尚一先生(弁理士 Ph.D. 久遠特許事務所代表)
1980年4月 早稲田大学理工学部電気工学科卒業
1982年6月 アイオワ州立大学化学科卒業 B.A.
1987年12月 シカゴ大学大学院化学科博士課程修了 Ph.D、1990年 弁理士登録
AIPPI本部理事、日本ライセンス協会理事、2011-2013年度 日本弁理士会長
内閣府知的財産戦略本部 元有識者本部員
現在、AIPPI・JAPAN副会長、NIPTA理事長(2017年7月-)

担当教授 有原幸一先生(弁理士 久遠特許事務所)
日本弁理士会研修所継続研修企画運営部所属

担当教授 James D. Hughes先生(特許翻訳専門家)

担当教授 David Albagli先生(外国法事務弁護士・米国カリフォルニア州弁護士、
米国特許商標庁資格、ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所に所属)
プリンストン大学化学工学科卒業 BSE
マサチューセッツ工科大学化学科博士課程修了 Ph.D.
2006年8月-12月 カリフォルニア州北部地区連邦裁判所(CAND)インターン

(大阪 本科)

主任教授 酒井将行先生(弁理士)
1985年 東京大学工学部物理工学科卒業、1987年 同大学院修士課程修了
三菱電機(株)勤務、1996年 弁理士登録
1994-2011年 深見特許事務所勤務、副所長を経て退職
その間、1994年より17年間、国内外の企業をクライアントとして、電気・電子・ソフトウェア
分野の出願、審判の他、判定、鑑定、訴訟などの特許実務に従事。
2011年-現在 国際電気通信基礎技術研究所 知的財産担当部長

担当教授 川上桂子先生(弁理士 弁護士法人イノベンティア)
1989年 大阪大学基礎工学部情報工学科卒業
1989-1993年 日本銀行電算情報局勤務、2001年 弁理士登録
2009年4月-6月 米国連邦巡回控訴裁判所(CAFC)客員研究員
2009年6月 インテリクス国際特許事務所参画、2016年2月 川上特許事務所設立
2009年- アジア弁理士協会本部理事

担当教授 James W. Judge先生(米国弁理士)
2016年ハブス・エナツキー・イノウエ外国法事務弁護士法人に所属

担当教授 上野幸夫先生(特許翻訳専門家)

7. カリキュラムと日程

第36期 2017年10月スタート(東京 本科)

東京 本科/カリキュラム・日程(2017年10月～2018年2月)

東京:毎週水曜日、18:30～21:00pm、全15回/計37.5時間
前半7回・英文和訳 後半8回・和文英訳

月		時限	分類	講師	内 容	教 材	
10	18	1	演習	奥山	日本の特許・明細書・基本的な形式の注意 米国翻訳:E-J(1)	講師の選定による米国または国際 出願の公開公報など	
	25	2	演習	有原	米国翻訳:E-J(2)		
11	1	3	演習	有原	米国翻訳:E-J(3)		
	8	4	演習	有原	米国翻訳:E-J(4)		
	15	5	演習	有原	米国翻訳:E-J(5)		
	22	6	演習	奥山	米国裁判制度/翻訳:E-J(6)		
	29	7	演習	有原	中間テスト:E-J(7)/講評		
12	6	8	演習	奥山	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(1)	講師の選定による日本または国際 出願の公開公報など	
	13	9	演習	Hughes	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(2)		
	20	一週休み					
	27	一週休み					
1	3	一週休み					
	10	10	演習	Hughes	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(3)	講師の選定による日本または国際 出願の公開公報など	
	17	11	演習	Hughes	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(4)		
	24	12	演習	Albagli	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(5)		
	31	13	演習	Albagli	米国用のクレーム作成と特許翻訳:J-E(6)		
2	7	14	演習	奥山	クレームの作成と特許翻訳:J-E(7)		
	14	15	演習	奥山	最終テスト:J-E(8)/講評		

◎ 弊社ウェブサイトにて、使用教材のサンプルをご覧頂けます。

上記内容は一部変更になる場合があります。
教材はカリキュラムに沿って随時提供します。
教材費は授業料に含まれます。

第36期 2017年10月スタート(大阪 本科)

大阪 本科/カリキュラム・日程(2017年10月～2018年2月)

週1回(木曜) 18:30～21:00pm 全15回/計37.5時間

前半7回・英文和訳 後半8回・和文英訳

		時限	分類	講師	内 容	教 材	
月	日						
10	19	1	演習	酒井	米国翻訳:E-J(1)	講師の選定による米国または国際出願の公開公報など	
	26	2	演習	酒井	米国翻訳:E-J(2)		
11	2	3	演習	上野	米国翻訳:E-J(3)		
	9	4	演習	上野	米国翻訳:E-J(4)		
	16	5	演習	Judge	米国翻訳:E-J(5)		
	23	一 週 休 み					
	30	6	演習	Judge	英国翻訳:E-J(6)	講師の選定による米国または国際出願の公開公報など	
12	7	7	演習	上野	中間テスト:E-J(7)/講評		
	14	8	講義	川上	特許クレームの和英翻訳についての注意事項	講師の選定による日本または国際出願の公開公報など	
	21	9	演習	川上	特許翻訳:J-E(1)		
	28	一 週 休 み					
1	4	一 週 休 み					
	11	10	演習	酒井	特許翻訳:J-E(2)	講師の選定による日本または国際出願の公開公報など	
	18	11	演習	酒井	特許翻訳:J-E(3)		
	25	12	演習	上野	特許翻訳:J-E(4)		
2	1	13	演習	Judge	特許翻訳:J-E(5)		
	8	14	演習	Judge	特許翻訳:J-E(6)		
	15	15	演習	酒井	最終テスト:J-E(7)/講評		

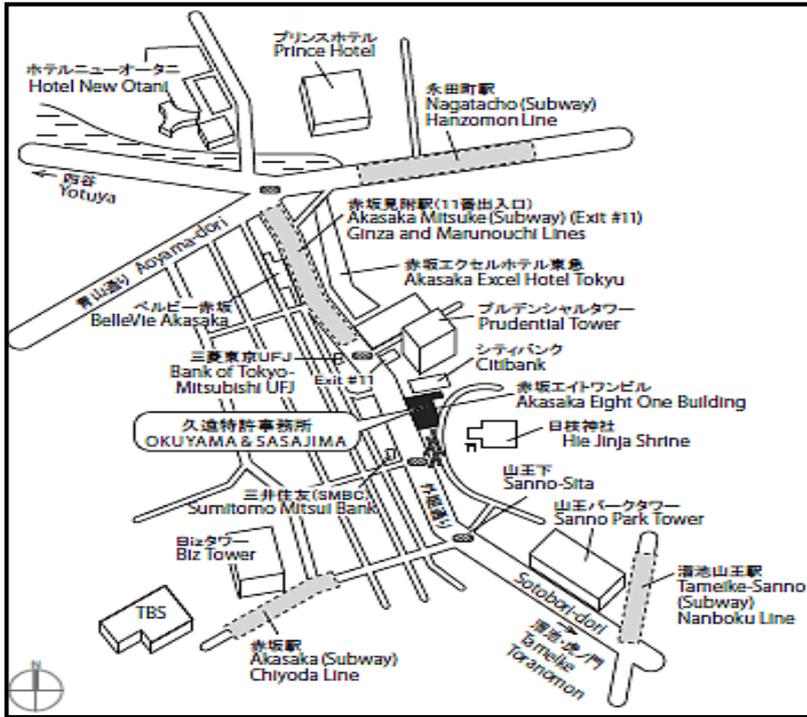
◎ 弊社ウェブサイトにて、使用教材のサンプルをご覧頂けます。

上記内容は一部変更になる事があります。
 教材はカリキュラムに沿って随時提供します。
教材費は授業料に含まれます。

8. スクール会場のご案内

東京会場(本科)

千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル7F 1階にPLUSのショールームがあるビルです。



<アクセス>

丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅

11番出口より徒歩2分

千代田線「赤坂」駅

2番出口より徒歩5分

有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅

8番出口より徒歩4分

銀座線・南北線「溜池山王」駅

7番出口より徒歩6分

※都合により一部日程で会場が変更になる場合がありますのでご了承ください。

大阪会場(本科)

大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内教室

TEL: 06-6443-5324



<アクセス>

地下鉄四つ橋線「本町」駅

28号出口より徒歩5分

地下鉄御堂筋線「本町」駅

2号出口より徒歩8分

【受講生の声】その16

受講修了者の声(平成27年)

■Tさん(女性/29期・翻訳上級コース)

1月からG社での勤務を開始して、あっという間に半年以上経ってしまいました。予想通り初めてのことばかりで今もまだ奮闘中です。スクールで学んだ知識だけを手に、何とかやらせて頂いております。

仕事も育児も初めてのことばかりで手探りの日々ですが、その分この半年、前職を退職して以来の充実した日々を過ごしているように思います。白髪も増えました(笑)。日々色々なことがある中で、一つのことを続けていく難しさを、子供を持ってから一層強く感じています。エイバックさんは相当な年数スクールを続けていらっしゃるって、でも続けて下さったおかげで、私のように人生を大きく転換することができた人が数えきれないほどいるんでしょうね…。学生の頃から翻訳者を夢見ておりましたので、この会社に入社して「特許翻訳者」と書かれた名刺を手にしたときには、感極まるものがありました。一つの夢が形になった瞬間を一人かみしめていました。でも不思議なもので、一つの夢が形になった瞬間からもうゼロスタートを切っていて、今はやはりフリーの翻訳者として独立することが夢です。因みに、手近な目標としておりました、エイバックの受講料をこの仕事で稼ぐ、というのは無事達成しました(笑)。

前の会社を退職して丸2年、社会復帰を高いハードルと感じていた私に心強い武器を与えて下さったエイバックさんに本当に感謝しています。お決まりのセリフのようですが、でも本当に、今の私があるのはエイバックさんのおかげだと思っております。正直なところ、やはり産後は無理かもしれないな…、と思ったときも一瞬ありましたが、堀部さんとお話していると大したことではないように思えてふっ切れた瞬間があったことを今でも覚えています。あとは勢いで乗り切った！という感じです。

ですので、私を卒業までしっかり引っ張って下さったその力強さでこれからも色々な方々を応援してあげてください！！ 本当に有難うございました。

■Aさん(女性/29期・翻訳上級コース)

先日はありがとうございました。

ひと段落ついたら、弁理士の勉強をしたいと思います。

事務所はとていいところです。N先生はじめ皆さんに、温かくときには厳しくご指導頂いております。エイバックさんに出会わなければ、こんな就職はできなかったと思います。おかげさまで、人生が変わりました。

スクールに入学する前は、特許や特許翻訳を全く知らず、最初の面談で、世の中の厳しさ乃至特許翻訳の世界の厳しさを教わりました。それでも決意してこの世界に飛び込んで良かったと思います。

スクールでは、はじめは明細書を全く読み進められず苦勞しました。しかし、モチベーションの高いエイバックズームで、なんとか翻訳者になるための力をつけることができました。一年後、特許事務所を紹介していただきました。エイバックさんの紹介なら願ってもないことでした。運良く内定をもらい、早速働かせていただいております。仕事は大変ですが、とても楽しく働いています。事務所の人たちは、みな協力しあい助け合いながら、かつ、自分の仕事に責任を持ち、とても雰囲気の良い事務所です。そのようなところで働けることは本当に幸せなことだと感じております。

こんな私が、これだけ良い環境で働けるに至ったことは、厳しく温かい堀部さんのご教示と、エイバックズームのおかげです。未熟な私ですが、これからも特許翻訳の仕事に励んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

【受講生の声】その15

受講修了者の声(平成26年)

■Mさん(男性・翻訳上級コース)

ご無沙汰しております。修了生のMです。私は、エイバックズームで頑張った甲斐あって、翻訳会社から転職して、特許事務所内の翻訳者をしています。偶然ですが、一緒に勉強したIさんと同じ特許事務所です。今から振り返ってみると、エイバックズームでの経験は自分の大きな力になっていると感じていて、堀部さんにはとても感謝しています。

H(弁理士試験合格)さんのニュース、すごく励みになります。ありがとうございます。

■Mさん(女性/28期・翻訳上級コース)

現在、特許事務所からお仕事をいただいてフリーランスで翻訳を始めました。日々、勉強しながら、希望していた化学分野(医薬など)を訳しています。ただ、コメントに毎度、この翻訳の自信がないからチェックお願いします、と書いてしまうそんな日々です。

また新しい講習があるのですね。
今回は厳しそうなのですが、もっと勉強したいと思っています。
また機会があれば、ぜひ参加させていただきたく存じます。
ご案内ありがとうございました！

■Tさん(女性/29期・翻訳上級コース)

昨日、A社トライアル試験及び一次面接を受け、本日合格通知を頂きました。来週、二次面接(最終)を受けさせて頂く予定です。昨日の面接では、「日英のトライアルの評価は最高でした。向いていると思います。」と言って頂けました。もう嬉しくて跳び上がりそうでした。本当にありがとうございました。

来週の面接も合格できるように頑張ります。
(2週間後再び)

報告させて頂きました通り、無事にA社に採用して頂けることになりました。本当に、本当に、有難うございました。

大学卒業後6年間、以前の会社に勤務し退職後結婚、出産を経て2年間無職の時期を過ごし、こうして新たなスタートラインに立つことができたのはエイバックスクールと堀部さんのおかげに他なりません。転職の壁を非常に高く感じておりましたので、今心底ほっとしております。しかしのんびりしている暇はありませんので、早速保育園を探して出来るだけ早く勤務を開始できるようにしたいと思います。

下記、修了生の声として使って頂けたら幸いです。

=====

文系出身、前職も特許とは全く無関係だった私がこの度某翻訳会社の内定を頂くことができました。これはひとえにエイバックスクールと堀部社長のおかげです。

完全な未経験レベルから、たった半年でトライアルで良い評価を頂けるレベルまで引き上げて頂いたのは講師の方々のご指導と日々の課題が常に実際のお仕事を前提とした実践的なものだったからだと思います。また受講生の方々も皆さん意識が高く、途中、継続していくことが難しいと思った時期もありましたが、良い刺激を頂きながら最後まで受講することができました。

今後もまだまだ分からないことだらけで勉強の日々が続きますが、フリーランスでコンスタントに受注できるレベルを目標に新しい職場で頑張っていきたいと思っています。

本当に有難うございました。

【受講生の声】その14

受講修了者の声(平成26年)

■Sさん(男性/29期・東京上級コース)

第29期生のSです。

WEB講座から始めてこの10か月間、堀部社長、講師の先生方、エイバックZoomの皆様には大変お世話になりました。

これまで書籍などで特許翻訳について自習してきましたが、著者によって書いていることが違うこともよくあり、日々疑問や疑念を抱えておりました。上級講座では、著名な弁理士の先生方に直接質問することで、そうした疑問点を大幅に減らしていくことができたと感じています。

本来、特許翻訳という業は、特許事務所などの環境で先輩から後輩へと傳承されていく考え方や技術を前提としているのだらうと思います。エイバックの上級講座では、そうした理想的な環境に近いものを体験できるため、この業界で生きていくために必要な心構えと知恵を得ることができたと思います。

私自身はまだ特許翻訳実務を始めるには至っておりませんが、今までとは違い、視界が開けてきたのを実感しております。今後ともよろしく願いいたします。

■Iさん(男性/29期・東京上級コース)

数日前に最終講義を終えたばかりで、まだトライアルは受けておりませんが、自分の特許翻訳力が飛躍的に向上したと感じています。私は9年ほど前に特許翻訳業務に1年半ほど従事した経験があり、知的財産部にも所属しておりましたが、翻訳セクションでは同僚同士で教えあう文化が希薄であり、自習するしか上達の道はありませんでした。

今回翻訳上級コースで3名の講師の先生方に添削をしていただき、更に質問にも丁寧にご回答いただいたことで、特許翻訳業における「肌感覚」を身につけることができたように思います。

高いレベルで実務をこなしている方だからこそできる、実体験から導き出される回答を得られます。

これだけのプロに、自分の質問をぶつけることのできる機会は、もうないと思いました。

実務者にとっては重要でも、特許関連サイト、MPEP、書籍等文字情報には明示されない翻訳技術が多々あります。恐らく実務者だけが身につける「コツ」なのでしょうが、それを当人から聞くことができ、疑問点を答えて貰えるのは大変貴重な経験だと思います。実際私は、過去の翻訳業務の運用で間違っていた点を多数発見致しました。

多くの講師の方々には翻訳の納品をクライアントとして受け取っています。クライアントが本当に求めていることが何かということも、よくわかりました。

29期の皆さんとは今後も勉強会を続けていくことでコンセンサスが取れており、既に次回の日程や検討課題も決まっています。

翻訳レベルの近い、しかも半年机を並べていた方々は、私にとって非常に貴重な存在です。このような繋がりを作る事ができたのは、堀部さんの人徳だと思っています。

今後ともご指導よろしくお願い致します。

■Kさん(男性/28期・東京上級コース)

私事ではございますが、おかげさまで、H社様よりトライアル合格の連絡をいただきました。

合格対象分野は英日/日英:情報通信となります。特許翻訳者への入り口につながる足掛かりを得たといったことでしょうか。

堀部さんが仰っていたように、これからが本当の勝負だと思っています。クライアントから信頼される翻訳者となるべく、問題意識をもって日々精進してまいります。堀部社長、講師の先生方、半年間大変お世話になりました。

有難うございました。

【受講生の声】その13

受講修了者の声(平成25年)

■Tさん(女性/27期・東京上級コース)

半年前まで、特許についても何も知らず、仕事で英語を使うことは皆無でしたが、上級クラス修了直後、堀部さんからご紹介頂いた先のトライアルに合格し、その後、その翻訳会社の特許部門で、校正と翻訳のお仕事をさせていただくことになりました。こんなに早くお仕事をさせていただけることになるとは、思ってもみなかったもので、驚きと喜びで一杯です。面接の際、翻訳のトライアルの出来がかなりよかったと、お褒めの言葉をいただきました。まさに、エイバックでの学習の成果です。

全くの初心者の私が、こうして、翻訳者としての一步を踏み出すことができたのは、ひとえに、温かくも厳しい先生方のご指導と、レベルが高く向上心溢れるクラスメートの皆さんのお蔭です。心から感謝しております。

■Sさん(男性/27期・大阪上級コース)

第27期・特許翻訳上級コースを大阪校にて受講しておりましたSと申します。半年間にわたり、大変お世話になりました。おかげさまで、このたび特許事務所より、日英の特許翻訳者(正社員)として内定をいただくことができました。経験者以外での採用は私がはじめてのようなので、本当にうれしく思っております。エイバックの優秀な先生方によるきめ細かな授業内容のおかげで、今回、内定をいただくことができたと思っています。

特許翻訳の入り口にようやく立つことができましたが、これからが本当の勝負だと思っています。今後も色々とお世話になることがあるかと思いますが、どうぞよろしく願います。

末筆になりますが、親身になって相談にのっていただいた堀部社長、青山さんには本当に感謝しています。

本当にありがとうございました。

■Nさん(男性)

半年間にわたり、大変お世話になりました。この半年間の研修で翻訳者としてのスタート台にたてそうな気になってきました。そのような気持ちになれることが1つの成果であると思っています。

私は、日⇒英の明細書翻訳を開始できることになりました(1つめがトライアルに相当するようです)。先生方のお話では2-3年は初心者レベルのようですので、まずは継続して仕事がいただけるようレベルアップに努めていきたいと思っています。

私の場合、在宅での仕事になりますので翻訳者仲間という付き合いがありません。仕事を継続して行かなかで、今後ともお世話になることがあろうかと思いますが、宜しく願いいたします。

■Kさん(女性)

最初4月にコースが始まった時は、特許の知識も翻訳の経験も殆どなかったので、こんな私が特許事務所で働いている方や、実際に特許翻訳者の方と肩を並べて勉強していいのだろうか・・・?と不安でした。加えて、文系出身で、技術内容も全く分からず、最初は特許翻訳の分野に足を踏み入れてしまったことを後悔しました。

そんな私も、半年間を終えた今、特許翻訳者としての一步を踏み出そうとしています。実際にお仕事が始まるのは少し先なので、まだどうなるか分かりませんが、これからもっと今まで以上に勉強して、早く一流の特許翻訳者になれるように頑張りたいと思います。

知識も経験もなく、心配性で怠け者な私がここまで頑張ってきたこと、そして特許翻訳者としての一步を踏み出せたこと、それらは全て先生方やクラスみんなのおかげだと思っています。半年間一緒に学ぶことが出来て、本当に良かったです。なので、半年のコースが終わってしまって、今少し寂しく感じています。

またみんなで時々集まれたらいいな、と思います。その時に、がんばってるよ!と胸をはって言えるように、これからも勉強を続けていきたいと思っています。半年間、本当にありがとうございました。